

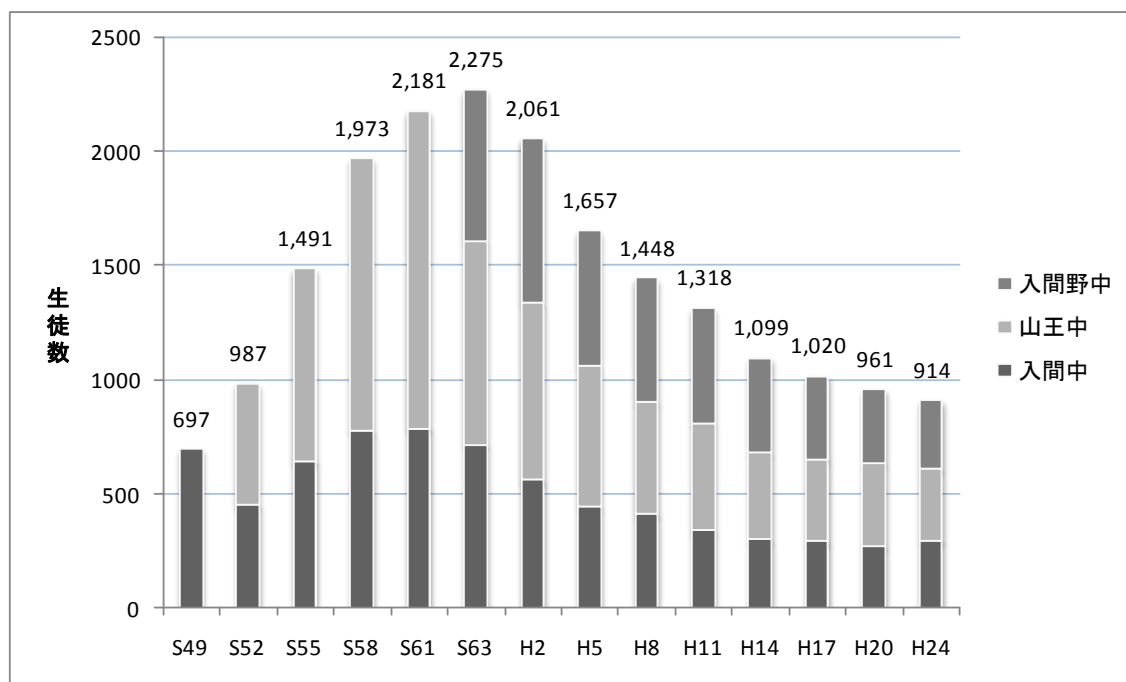
入曽地区の中学校を取り巻く状況

狭山市教育委員会では、学校の規模と配置の適正化を図ることにより、教育環境のより一層の充実を目指しています。

狭山市教育委員会が策定した「狭山市立小・中学校の規模と配置の適正化に関する基本方針」では、地区ごとに統廃合の検討が必要な学校数を示しており、入曽地区については、適正な中学校の数を2校としています。

(1) 生徒数の推移

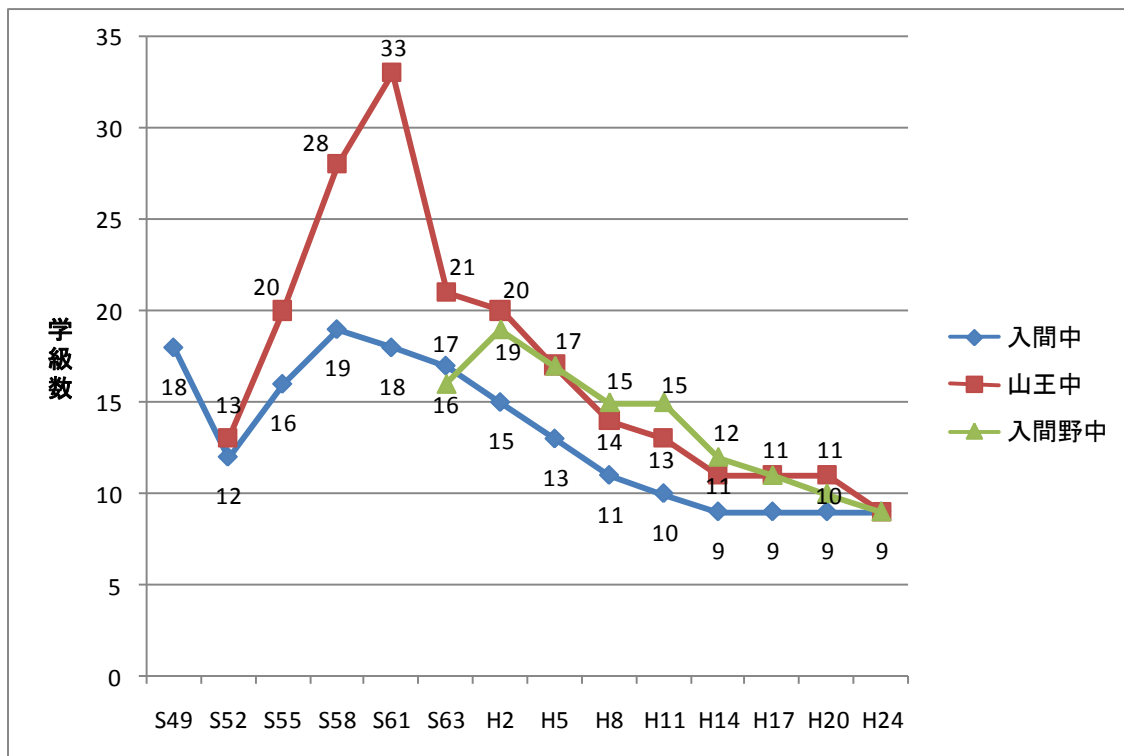
入曽地区の中学校の生徒数は、昭和63年をピークに減少傾向にあり、現在はピーク時に比べて約60%減少しています。



注) 特別支援学級の生徒数は含まれていない。

(2) 学級数の推移

入曽地区に3校ある中学校は、ここ数年は適正規模（12～18学級）を下回る状態が続いています。



注) 特別支援学級の数は含まれていない。

(3) 生徒数及び学級数の今後の推計

入曽地区の中学校の生徒数は、平成27年を境に減少に転じ、3校とも引き続き適正規模の確保は難しい状況が予想されます。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
入間中	296 9	326 10	330 10	342 10	324 9	316 9	314 9
山王中	313 (12) 9 (3)	285 (12) 9 (3)	307 (12) 10 (3)	306 (12) 10 (3)	311 (12) 10 (3)	282 (12) 9 (3)	275 (12) 9 (3)
入間野中	305 9	326 10	333 9	351 10	322 9	306 9	279 9
計	914 (12) 27 (3)	937 (12) 29 (3)	970 (12) 29 (3)	999 (12) 30 (3)	957 (12) 28 (3)	904 (12) 27 (3)	868 (12) 27 (3)

注1) 上段は生徒数、下段は学級数、()内は特別支援学級で外数

注2) 学級数は、中学1年生は38人、中学2・3年生は40人で算出